

平成28年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	(港湾海岸) 海岸事業調査費			担当部局	沖縄振興局			作成責任者		
事業開始年度	昭和47年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(振興第三担当)			奥田 薫		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法			関係する計画、通知等	沖縄振興基本方針、沖縄振興計画					
主要政策・施策	沖縄振興			主要経費	公共事業					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄振興計画に基づき、高潮や津波、波浪等による自然災害や海岸浸食から生命、財産を守るため、景観や生態系など自然環境に配慮した海岸保全に努めることを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	津波、高潮、波浪、海岸浸食による災害から背後の人命や財産防護、国土保全に資することを目的に、護岸等の整備に資する調査を行う。 ※港湾に係る海岸に限る ※国費率 事業調査:国10/10 ※内閣府で一括計上し、国土交通省で執行(「備考」欄参照。)									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		当初予算	4	4	4	4	4			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計	4	4	4	4	4				
	執行額	4	4	4						
執行率(%)	100%	100%	100%							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 28年度	目標最終年度 -年度	
	津波・高潮等による災害から一定水準以上の安全性が確保(防護)されている海岸の整備の推進	防護面積の拡大	成果実績	ha	72.6	78.3	80.1	-	-	
			目標値	ha	-	-	-	76.9	-	
			達成度	%	94.4	101.8	104.2	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	海岸事業調査件数	活動実績	件	1	1	1				
		当初見込み	件	1	1	1	1			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	執行額(X)÷調査件数(Y)	単位当たりコスト	百万円	4	4	4	4			
		計算式	x/y		4/1	4/1	4/1	4/1		
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	海岸事業調査費	4	4							
	計	4	4							

事業所管部局による点検・改善

		項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性		事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	関係法令に基づき、海岸の保全を目的に国が実施している重要な事業である。
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	関係法令に基づき、海岸の保全を目的に国が実施している重要な事業である。
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	関係法令に基づき、海岸の保全を目的に国が実施している重要な事業である。
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	入札手続きの透明性・競争性の確保に努めており、支出先は、適切な入札方式、手続きを経て決定している。
		一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
		競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	予算の効果的・効率的な執行に努めている。また資金の流れの検証ができるよう、契約額・支出先及び契約方式等を把握している。	
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に見合った成果実績をあげている。
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業目的に沿って、適切な手段・方法で実施している。
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みと同様な実績であり、見合ったものである。
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果物は、海岸の整備の促進に十分に活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	・予算の効果的・効率的な執行に努めている。また、資金の流れの検証ができるよう、契約額・支出先及び契約方式等を把握している。 ・調査結果については、引き続き海岸事業の実施に活用していくことが必要。 ※予算の執行状況については、沖縄総合事務局を通じて確認している。		
	改善の方向性	引き続き、予算の効果的・効率的な執行等に努める。		
外部有識者の所見				
内閣府担当部局と、国土交通省の実施部局との、権限関係を、より明確にされたい。実質的に、国土交通省の事業であるなら、そちらで予算措置を講ずるべきである。内閣府の委託ないし監督の実態を踏まえた、見直しが必要となるかもしれない。 他省庁との連携が不可欠の事業であるならば、本事業において、環境省が関与していない点の説明も必要ではないかと思われる。				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	事業実施省庁との権限を明確化した上で、実施省庁と連携して、事業の有効性・効果について適切に検証すること。 また、事業の進捗状況を的確に把握し、執行実績を適切に概算要求に反映させること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	沖縄振興予算の仕組み(内閣府の役割、事業実施省庁との連携)について、備考欄に記載した。 外部有識者及び行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の進捗状況の把握に努めたい。			
備考				
内閣府においては、沖縄振興を目的とする事業のうち公共事業を中心とする関連事業の全体的な把握、事業相互間の進捗調整、計画に沿った事業の推進を図るため、これらの事業の経費を内閣府に一括計上し、これを事業執行官庁に移し替えて執行することにより、計画実施について効果的な総合調整を行っている。				

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0101-④	平成23年度	0102	平成24年度	0104
平成25年度	0062	平成26年度	0059	平成27年度	0065

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣府
4百万円

〔 海岸事業予算の移替 〕



国土交通省
4百万円

〔 予算配分、
沖縄総合事務局への助言 〕



A. 沖縄総合事務局
4百万円

〔 沖縄における海岸保全施設の
侵食対策検討調査業務 〕



※【プロポーザル方式】
B. 民間企業
((一社)日本マリナービーチ協会)
4百万円

〔 沖縄における海岸保全施設の
侵食対策検討調査業務 〕

※複数の者より企画の提案を受け、
その中から最も優れた提案を行った
者を選定する方式。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

